

ダイセー倉庫運輸

地元小学校へ書籍寄贈

読書の魅力「気付いて」

ダイセー倉庫運輸（吉田 憲三社長、愛知県小牧市）は7日、小牧市の小学校と市の中央図書館に書籍を寄贈した。創業から48年を迎え、地域への感謝の意味を込め市教育委員会を通じて行った。

近隣の村中、三ツ洲の両小学校に「国語の力がグングン伸びる1分間速音読ドリル」を60冊ずつ、中央図

書館に「楽しみながら1分で脳を鍛える速音読」を20冊、それぞれ寄贈。合計140冊を贈った。

活字離れが叫ばれる昨今でも「小学生の頃から本を音読する習慣を身に付けることで、読書の魅力に気付いてもらえるはず」との吉

田社長に本を手渡す吉田社長



田社長の思いで実現した。同日、村中小学校で行われた贈呈式では、兼子正巳校長と6年生の児童2人に吉田氏が本を手渡した。

吉田氏は「創業地へ恩返しをしたいと考え、子供の心を育てる手伝いになればと今回の寄贈を決めた。本を読めば歴史上の人物に会えるなど、人生が豊かになると自身も実感している」と応え、「今後も全国の営業所の地元を含め、このよ

うな取り組みを継続して行っていきたい」と話した。

（梅本誠治）